

〈ワンドとダイヤと優しい奴ら〉

超人気コメディエンヌ

〈インディ・ジョーンズ/最後の聖戦〉

イギリスの名舞台女優

〈愛は静けさの中に〉

〈ビルとテッドの大冒険〉



浮気が生きがいの  
レディーキラー亭主

睡眠3時間  
16時間働いたうえに  
浮気が日課  
ケタはずれの  
食慾は  
精力絶倫の源  
みんな  
“怪物セックフ・マシーン”  
って呼ぶんだ

復讐に燃える  
シット深い妻

何年も何年も  
私にかくれて  
ツマミ食い  
くやしいっ!!  
誰かに彼を  
渡すくらいなら  
いつそ息の根を  
止めてやる

トシマ女が好きな  
フリーター

どんなヤバい事でも  
やっちゃうぜ  
ボクの憧れの  
奥さんの

殺意ムキ出しの  
ビッグ・バッド・ママ

私の大切な娘を  
女房にときながら  
2週間に  
5人の女と…  
もう許せない!

一撃必殺!?

雇われた殺し屋コンビ  
オレたち  
ヤクで  
オツムがフワ～  
でも  
殺しにかけちゃ  
天下一品  
殺人フルコースを  
ご馳走するぜ  
値段は  
チート張るがね

寄ってたかって  
必死になって

殺そうとは  
してみたが……

信じようと  
信じまいと  
これは  
アメリカで  
実際に  
あった  
お話。

# 殺したいほど アイ・ラブ・ユー

I LOVE YOU  
TO DEATH

An unbelievable story that's incredibly true.

トライ・スター映画提供 チェスナット・ヒル・プロダクション ローレンス・カスダン・フィルム

ケビン・クライン トレイシー・ウルマン ウィリアム・ハート リバー・フェニックス ジョーン・プローライト キース・リーフス “I LOVE YOU TO DEATH”

共同製作パトリック・ウエルズ & ローレン・ワイズマン 衣装アジー・グーラー・ロジャース 音楽ショーン・ボナー

脚本アン・V・コース、A.C.E. プラタクション・サイン・リリー・ケルバート 撮影オーケン・ロイスマン、A.S.C. 製作総指揮チャールズ・オーエン & マイケル・グローブ

コムビア・トラスター 製作配給

DD DOLBY STEREO  
撮影ジョン・コストメイヤー 製作ジェフリー・ルーリー & ロン・モラー 監督ローン・カスダン

© THE WEAVER INC. ALL RIGHTS RESERVED

# 俺を殺すほど 愛している。 俺の浮気を見ているより 殺した方がいい。 刑務所に行くほど 俺を愛している。 とても嬉しいよ、君たちのその情熱…!?



★信じようと 信じまいと……

これは実際に起きた殺人事件!?の映画化なのだ。

事実は映画より奇なり。

フィクションは、現実の人間模様にしかず——。

今から6年前('84年)。全米がアッ気にとられた夫と妻のウソみたいな『実話』が、過激にオーバートなラブ・コメディとして甦った!

信じられない物語の元凶の名はジョーイ・ボーカ。ピザ・パラーラーを経営するエネルギー豊かなイタリアン。ところがこれが“超”的付く絶倫浮気男。妻のロザリーの目をかすめてはひたすら不倫を重ねていたが、ある日、遂に長年の所業が露見。亭主を一途に愛してきた女房は、怒りと悲嘆にくれて……。

ここまでよくある話。凄いのはこの後。妻ロザリーの実の母親が、娘可愛いさ?のあまり、とんでもない考えをたきついたのだ。

「愛しているなら殺しちまえ!」

短絡的というか、女はコワイというか、まさに可愛いさ余って殺意百倍。知らぬが仮のジョーイに対し、女たちは次々と殺しの罠を仕掛け始めた。一度ならず、二度三度と。だが並外れた体力のジョーイには……。

ブラックな殺人劇と究極の愛のドラマ。全く相反するテーマをドッキングさせ、前例のないコメディに仕立てたのは、『白いドレスの女』で監督デビュー以来、一作毎に評価を高めるアメリカ映画界の才人ローレンス・カスダン。渴いた笑いとはいえ、彼にとっては初の本格的コメディ。気心の知れた製作スタッフやキャストとともに、肩のこらないエンターテインメントに徹した話題の最新作だ。

I LOVE YOU  
TO DEATH  
An unbelievable story that's incredibly true.

## 殺したいほどアイ・ラブ・ユー

# 11月2金ロードショー

特別前売鑑賞券発売中！一般券1,300円／ペア券(劇場窓口のみ)2,300円

(当日：一般1,600円／学生1,300円の処)

新装・新宿歌舞伎町・ミラノ座となり4F  
—アメリカン・コメディ・シアター—  
**シネマミラノ** 03 (200)  
0888

日・祝 10:50 平日 12:50 2:50 4:50 6:50

\*毎金・土曜レイトショー 8:50より

★クライン、フェニックス、ハート、リーブス…  
オールスターによる傑作ブラック・ラブ・コメディ！

常識外れのキャラクターを演じる豪華キャストの競演が楽しい。まず、他の登場人物全員から命を狙われる不死身の浮気亭主ジョーイに、『ワンダとダイヤと優しい奴ら』でアカデミー助演賞に輝き、コメディ演技に冴えを見せるケビン・クライン。カスダン作品はこれが3作目。愛が昂じて夫殺しに走るジョーイの妻ロザリーに、イギリスの舞台、ショービジネス界でキャリアを積み、映画『ブレンティ』や自己のTVバラエティ・ショーの多芸多能が脚光を浴びるトレイシー・ウルマン。娘に夫殺しをそそのかし、人を食った母親ぶりが笑わせる姑ナージャにイギリスの名舞台女優ジョーン・プローライト。ロザリーに気があることから殺人計画に加わるピザ屋の若い店員に『旅立ちの時』『インディ・ジョーンズ／最後の聖戦』の人気アイドル、リバー・フェニックス。

そして、ジョーイ殺しを依頼されてやって来る少々タガのゆるんだ殺し屋たちに『白いドレスの女』『偶然の旅行者』など、カスダン作品はこれが4作目のウィリアム・ハートと、『危険な関係』『バックマン家の人々』の二枚目アイドル、キース・リーブス。ジャンキーの2人が絡んでくるあたりから、ドラマの笑いもアブなさ加減も一気に盛り上がるという仕掛け。

奇なる事実を脚本に移し変えたのは新鋭ジョン・コストメイヤー。撮影は『フレンチ・コネクション』『エクソシスト』の名手オーウェン・ロイズマン。陽気なイタリアン・メロディを聞かせる音楽は『コクーン2』『フィールド・オブ・ドリームス』の売れっ子ジェームズ・ホーナーが各々担当している。

また、主演のケビン・クラインと'89年3月に結婚したばかりのフィービー・ケーツが、クレジット無しのゲスト出演で、クラインとお熱い絡みを見せる他、カスダン監督の息子ジョナサンがクラインの息子役で、カスダン自身も、ドラマの終盤に弁護士役でチラリと登場。同監督の溢れる遊び心に思わずニヤリしてしまう作品でもある。

〈1990年度トライ・スター映画作品／コロムビア トライ・スター映画配給／チェスナット・ヒル・プロ製作作品〉

